

(法第28条第1項関係様式例)

令和4(2022)年度事業報告書

令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで

(特定非営利活動法人の名称)

NPO法人てんびんの会

1 事業の成果

はかり利用者は、本来、熊本市が指定した時期及び検査場所にはかりを持ち込んで定期検査を受けるところであるが、当NPOが検査を受託することにより巡回検査を実施し、利用者の利便性を図ることが出来た。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象 者の範囲及 び人数	支出額 (千円)
(1) 計量に関する知識の普及及び啓発活動事業	行っていない。					
(2) 適正な計量管理のための支援事業	行っていない。					
(3) 計量器検査校正事業	行っていない。					
(4) 計量器の定期検査事業及び計量教育に関する業務の受託事業	熊本市西部に所在する電気式はかり定期検査対象事業805箇所(1,010台)の検査業務及び手数料収納業務を熊本市から受託して、定期検査等を行った。	令和4年4月1日～令和5年3月31日まで	熊本市内8805箇所	延べ5人	熊本市民	9,510千円
(5) 計量に関する調査研究並びに情報の提供事業	行っていない。					

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象 者の範囲及 び 人数	支出額 (千円)
(6) 環境の保全にかか る助言・検査の実 施事業	行っていません。					
(7) 地域の活性化を推 進する事業	行っていません。					

令和4年度(2022年度) 活動計算書

令和4年(2021年4月1日から令和5(2023)年3月31日まで)

(NPO法人てんびんの会)

科目	金額 (単位:円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	24,000		
賛助会員受取会費		24,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金			
施設等受入評価益		0	
3 受取助成金等			
受取民間助成金		0	
4 事業収益			
電気式はかり定期検査等受託事業収益	9,494,085		
特定計量器代検査手数料	0		
		9,494,085	
5 その他収益			
受取利息	1		
雑収入(損害保険受取)	0		
		1	
経常収益計			9,518,086
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当			
臨時雇賃金	972,000		
法定福利費			
人件費計	972,000		
(2) その他経費			
定期検査&事前調査委託費	5,851,000		
旅費交通費	101,050		
通信運搬費	335,024		
印刷製本費	66,000		
消耗品費	482,862		
車両リース費	425,088		
運送費	0		
システム運営委託費	550,000		
備品費	286,000		
保険料	49,015		
会議費	30,000		
教育訓練費	120,000		
車両借上げ費	132,000		
燃料費	110,555		
租税公課	0		
損金	0		
雑費	0		
その他経費計	8,538,594		
事業費計		9,510,594	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当			
役員報酬			
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
旅費交通費			
通信運搬費			
印刷製本費			
消耗品費	12,000		
備品費			
水道光熱費			
地代家賃			
保険料			
会議費	12,000		
雑費			
その他経費計	24,000		
管理費計		24,000	
経常費用計			9,534,594
当期経常増減額			(16,508)
III 経常外収益			
1 固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			-16,508
前期繰越正味財産額			16,558
次期繰越正味財産額			50

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 設立時の資産がある場合は、設立当初の事業年度に設立時正味財産額としてその額を記載する。翌事業年度以降は、前年度の活動予算書に次期繰越正味財産額として掲げた額を、前期繰越正味財産額として記載する。
- 3 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する人件費及びその他の経費で、管理費以外のものをいう。事業の種類ごとの費用を表示する場合には、注記において区分して記載する。

令和4年度(2022)会計貸借対照表

令和5年(2023)年3月31日現在

NPO法人てんびんの会

科目		金額(単位:円)	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	50		
流動資産合計		50	
2 固定資産			
		0	
資産合計			50
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		16,558	
当期正味財産増加額(減少額)		-16,508	
正味財産合計			50
負債及び正味財産合計			50

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 (①)の部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」と記載し、それぞれ区分して別葉として作成する。
- 3 前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。

計算書類の注記(令和4年度(2022年度))

法人名：(NPO法人てんびんの会)

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によつてい
ます。

(1)固定資産の減価償却の方法

(2)施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

(3)ボランティアによる役務の提供

(4)消費税等の会計処理

2. 事業費の内訳

(単位:円)

科目	電気式はかり定期検査受託事業費	事業費	事業費	事業費	合計
(1) 人件費					
給料手当	972,000				972,000
臨時雇賃金	0				0
福利厚生費					0
人件費計	972,000	0	0	0	972,000
(2) その他経費					
定期検査&事前調査費	5,851,000				5,851,000
会議費	30,000				30,000
旅費交通費	101,050				101,050
車両等リース費	425,088				425,088
通信費	335,024				335,024
運送費	0				0
消耗品費	482,862				482,862
燃料費	110,555				110,555
備品費	286,000				286,000
保険料	49,015				49,015
印刷製本費	66,000				66,000
システム運営委託費	550,000				550,000
教育訓練費	120,000				120,000
車両借上げ費	132,000				132,000
損金	0				0
雑費	0				0
その他経費計	8,538,594	0	0	0	8,538,594
合計	9,510,594	0	0	0	9,510,594

3. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
実用基準分銅						
質量比較機						
1級基準分銅						
パソコンセット						
合計	0	0	0	0	0	0

4. 借入金が増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計	0	0	0	0

令和4年度(2022年度)特定非営利活動に係る事業会計財産目録
令和5年(2023年)年3月31日現在

NPO法人てんびんの会

科目・摘要	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 (現金手許有高)	50		
流動資産合計		50	
2 固定資産			
実用基準分銅			
質量比較機			
1級基準分銅			
パソコンセット			
固定資産合計		0	
資産合計			50
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			50

(備考)

- 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- (①)の部分には、財産目録を会計ごとに区分して作成する場合には、「特定非営利活動に係る事業」、又は「その他の事業」と記載し、それぞれ別葉として作成する。(ただし、財産目録については会計ごとに作成せず、法人単位に作成することもある。その場合、この書類の題名は、単に「財産目録」となる。)
- 前事業年度の末日現在における資産及び負債を記載する。